

事務事業名		信州中野環境祭事業		成果点検日	平成29年9月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	—	総合計画に記述のない事務事業	課・室	環境課
	政策	—	—	係	環境係
	施策	—	—	内線電話	247
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4款	衛生費	未計上	
	項	1項	保健衛生費	実施期間	
	目	6目	環境衛生費	平成20年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	環境教育に努めると同時に、環境問題全般について周知・啓発を図る。	
現状・課題	当初は平成19年に実施したごみ処理の有料化の啓発を目的に開催したが、現在は環境問題全般の啓発を図っている。		
市が行う理由及びその根拠	その他	環境問題全般について周知・啓発を図るため。	
事務事業概要	体験・実演・映像を多用して環境教育を行うほか、中野市の自然環境から環境問題全般について周知・啓発を行う。		
平成28年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	信州中野環境祭開催		1回

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円		1,327,000	1,325,000
補正予算		円				
合計		円		1,327,000	1,325,000	1,265,000
決算（見込）額 A			円	1,225,229	1,238,535	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
H29は予算額	一般財源	円		1,225,229	1,238,535	1,265,000
正規職員数			人	0.44	0.64	0.64
人件費 B			円	2,908,840	4,228,480	4,127,360
総事業費 A+B			円	4,134,069	5,467,015	5,392,360
市民1人当たりコスト			円	94	125	125

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
来場者数		維持	目標	1,200	人	1,300	人	1,500	人
			成果	1,300	人	1,800	人	—	
			目標						
			成果					—	
平成28年度の達成状況と分析	達成	来場者が楽しんで今日の環境問題などを知ってもらうよう開催内容を工夫するなどし、来場者数の増加に繋がった。							

平成30年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	引き続き、多くの方に環境問題について感心を持ってもらうよう内容の工夫を図る。						